

学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学名電高等学校同窓会



同窓会だより

発行所 愛知工業大学名電高等学校同窓会
〒464-8540 名古屋市千種区若水3-2-12
TEL (052) 721-0311 (代表)

同窓会、活躍の輪広げる

山崎元中日選手引退パーティー、OB会など活発

平成二十五年度は愛知工業大学名電高等学校将棋部女子が団体で二連覇を果たしたほか各部の活躍も目覚ましく「名電高」の名を高めました。野牧一雄名誉理事死去の悲しい出来事がありました。同窓会は活発に活動の輪を広げ、充実した一年でした。

伝統を繋いで



後藤淳理事長

同窓会の皆さん、お元気ですか。名古屋電気学園は一昨年、創立百周年という節目の年でした。母校の伝統を繋がないでいくのは中にいる教職員や学生、生徒もそうだが、同窓会がずつと繋いでいくことが大事だと思う。同窓会はここ十年ぐらいい、組織もしっかりと固まり、一段と充実した。私自身、母校の同窓会活

動に携わっている関係から思うのは、中心になり動いてくれる人が必要です。母校との繋がりが密になれば様々な情報が入ってきて同窓会活動も自然、活発となる。とにかく皆さんが集まるのが大事です。そのために同窓会の事務局を北校舎と道をはさんだ学園管理棟内に設けてあり、大いに利用してほしい。昨年十月にあった同窓会役員と若いクラス幹事との懇談の場に出席したが、若い同窓会会員の参加を増す良い試みだ。今後も母校の伝統を受け継ぎ、守り、応援をしてください。

第6号発刊にあたり



加藤訓会長

日に日に暖かい季節になってきました。会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会活動にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災復興の遅れ、原発事故の対応等、まだ不安は尽きませんが二〇二〇年東京オリピックの開催が決定し永年続いたデフレからの脱却など経済活動に先行き明るい話題が出て来ました。この様な中、同窓会員は各所で活躍の輪を広げています。プロ野球中日ドラゴンズなどで二十七年間活躍した、山崎武司

選手の引退パーティーをはじめOB会や学年会など積極的な活動を聞き大変嬉しく思っています。在校生の活躍も目覚ましく、将棋部が女子団体戦で二年連続の全国制覇の快挙をはじめ、十九の部活がインターハイなど全国大会に出場し輝かしい活躍をしています。また国公立をはじめ有名学校への進学も年々向上し、誠に頼もしい限りです。このたび、同窓会にとりまして懸けがいのない方を失いました。野牧名誉理事が昨年八月八日、八十歳を前にして急逝されまことに残念の極みです。十月二十七日学園と合同のお別れ会を「淳和記念館」で行いました。その折には多くの方にお見送りをいただき、ありがとうございました。これからも、母校と共に同窓会の運営に努めてまいります。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

「お別れの会」一先生の笑顔にお別れの列絶えず



花に包まれた遺影

昨年八月に急逝した同窓会名誉理事、愛知ウエイトリフディング協会会長で高校校長、学園理事などを務めた野牧一雄先生を偲ぶ「お別れの会」が十月二十七日、若水キャンパス内の淳和記念館で行われました。野牧先生は故郷の長野県・読書村（現・南木曾町）に滞在していた八月八日、八十歳の誕生日を前に急性心筋梗塞で亡くなられました。同窓会員や生徒の皆さんは七月三十一日に岡崎市民球場で行われた夏の県大



野牧先生の遺影に手を合わせ、お別れをする参列者

会決勝戦でスタンドから甲子園出場を決めた野球部にお見かけしただけに信じられませんでした。記念館三階の記念ホールで学園、同窓会、愛知ウエイトリフディング協会、野牧家合同で営まれた「お別れの会」には学



「お別れの会」に参列した後藤淳理事長（真ん中）、後藤泰之学長（右から3人目）、野牧千枝子さん（野牧先生の奥様、同5人目）ら



控え室に展示された野牧先生の「木の靴」等の遺品

た「お別れの会」には学校、同窓会関係者ら約四百人が参列。色とりどりの花で飾られた遺影に向かい後藤淳理事長、後藤泰之愛知工業大学学長、野牧先生の奥様、お嬢様や親族、加藤訓会長らが次々に献花し先生にお別れを告げました。控え室の愛知工業大学附属中学校一階会議室には、平成十六年に受章した「旭日雙光章」、愛用のベレー帽、故郷で入手したヒノキの板などを材料に考案し、ギャラリーなどで個展を開くまでの腕前だった「木の靴」も並べられ、参列者も手に取って見ていました。野牧先生は、昭和二十七年三月に名古屋電気高等

悼む

兄のような存在



羽佐田修二理事

等学校（愛工大名電高）を卒業後、母校で助手などを務めこの間、名古屋電気短期大学及び愛工大電気工学科で電気工学を学び、四十二年に名古屋電気工業高等学校（愛工大名電高）教諭となり教頭、校長補佐を経て、平成八年から十一年まで校長を務めました。

野牧一雄先生は職場の上司であり私の兄のような存在でもありました。思い起こせば際限のない映像の様で、そのほんの一コマを取りあげさせて頂きます。職員旅行等では、ついこの間の出来事のように鮮明に脳裏に焼き付いています。土産物

こつこつ努力、地味でよい、体を動かせ

店、骨董品店、食事処等いろいろな店へ連れて行って頂きましたが、よく言われる金魚のなんとかですか。先生の年齢は私よりも十歳上ですが、まるで子供がはしゃぐように無邪気さをそのまま素直に表わして本当に楽しく振る舞われ、周りを楽しくさせてくれます。まさに先生のお人柄そのもので、温かいものを心に感じました。

また、仕事においては情熱を持って常に相手を思い遣りながら行動される上司として最高の方と尊敬しています。よく言われまして仕事はまず受け、精いっぱいやる気を出せばなんとかなる、この言葉が私の体の中に強烈に染み込んでいます。こつこつ努力、地味でよい、体を動かせ、でした。先生ありがとうございました。

就活に温かい手



高橋力さん (団体役員)

野牧先生とは、大学三年生で中京大学ウエイトリフティング部のキャプテンとして県内大会のお手伝いの折、初めてお会いしました。その後は大学卒業後に就職が決まらず帰郷。就職活動をしていた時、昭和四十五年三月十日に突然、電話で就職が決まっていなければ名古屋に来ないかと誘いがあり、就職先も解らず布団と身の回りの物を持ち愛工大名電高に来ました。三月十七日に高校に野牧先生を訪ねると、その足で第2体育館一階ウエイトリフティング場に案内され、今日から君の職場だと言われて部活の指導をする事になり、選手として、役員として

先生として頑張るように言われました。

先生の許で多くの大会の準備・運営を経験することが出来ましたが、先生はいつ大会の準備をして臨まれているのか不思議でした。58年インターハイの時に名古屋市の実行委員会の事務局内にウエイトリフティング競技用のブースがありました。が、あまり事務局に行かないので他の競技が作業台として使用していたという話があります。それでも大会はスムーズに行われ特に問題も起こらず成功裡に終わるのです。

『自ら行動し、和を持って接する』

このように、先生の行動力、発想力は人並み外れており、他人を誹謗中



笑顔の絶えなかった野牧先生

傷することがありませんし、人前で怒る事ありません。『自ら行動し、和を持って接する』これが先生の信条であったと思われます。多くの人を惹きつけ、慕われ、そして信頼される人であったからこそ、惜しまれるのだと思います。

同窓会の頁

このページは同窓会、会員の近況・活動を中心にお伝えしています。投稿など大歓迎。お待ちしております。

役員総会開催

平成二十五年役員総会を昨年五月二十四日、名古屋市内のホテルで開きました。昨年亡くなられた本田義輝理事(昭27年卒)に対して黙とうした後、総会に先立ち加藤訓会長が挨拶し、学園創立百周年を記念し会員名簿を作成、発刊できたことへのお礼やホームページ



平成25年役員総会で挨拶する加藤会長

の更新・充実、同窓会だよりの発行等の現状報告を行いました。また、久保芳孝校長からは各部活動の成果、進学状況、生徒の善行などについて話がありました。議事では平成二十四年度事業報告、収支決算、二十五年度事業計画案、収支決算案をいずれも原案通り承認。さらに新広報委員に増田朗、近藤孝芳、宇田秀樹各理事を選びました。新委員を含む

受験生 頑張れ!

同窓会は1月18、19日に行われたセンター試験受験の生徒に初めて合格祈願グッズを贈り、激励。初日は先生の寄せ書き入り「落ちないファイル」=写真、2日目はお菓子の「トッパ」を試験会場の名古屋外大で先生から生徒に手渡しました。



同窓会活動などを紹介している同窓会ホームページのメールアドレスは、http://www.meiden-ob.net/です。ご利用ください。

委員は次の皆さんです。(敬称略)

- アドバイザー 加藤訓
▽委員長 葛谷捷臣▽副委員長 長尾楯夫、平田俊之▽委員 今津孝、松本和彦、宇田秀樹、東伸二、増田朗、柏太輔、近藤孝芳▽学園 寄川修、久保康雄▽事務局長 石川聡▽事務局 林綾希

新旧交流深める一平成25年度役員研修会・クラス幹事会開催

同窓会役員とクラス幹事との初めとなる懇談を兼ねた同窓会役員研修会・クラス幹事会が昨年十一月三十日、若水キャンパス内で開かれ、会食しながら交流を深めました。出席したのは平成十五年〜二十五年卒業のクラス幹事(クラスごとに二人を委嘱)二十三人と同窓会役員、先生合わせて約七十人。学園創立百周年を記念して若水キャンパス内に



同窓会役員研修会・クラス幹事会の懇談会



出席者を楽しませた高校チアリーディング部の演技

造られた「淳和記念館」のメモリアルギャラリーや記念ホール等を見学、北校舎光の庭で行われた高校チアリーディング部員による演技を楽しんだ後、ランチルームで懇談しました。懇談に先立ち、駆け付けた後藤淳理事長が「皆さんが社会でどれだけ活躍しているかが学園の力となります。皆さんの発展と活躍に期待しています」と挨拶、加藤訓会長も「卒業生は機会あるごとに母校へ足を運び、学園、同窓会を支援してほしい」と述べました。久保芳孝校長の歓迎の言葉に続いて渡邊静夫副会長の音頭で乾杯し、食事を



同窓会役員との初の懇談会に出席したクラス幹事の皆さん

しながら和やかに歓談しました。出席したクラス幹事は久しぶりに会った恩師、友人と学校生活の思い出や職場の話などで盛り上がり、話は尽きないようでした。



母校を話題に和やかに歓談する同窓会役員、先生、クラス幹事

深めよう絆ークラス幹事と懇談

平成25年度クラス幹事との懇談会が2月6日、高校会議室で開かれました。卒業生に同窓会の役割・活動を理解してもらい、今後の協力などをお願いする趣旨で毎年、3月の卒業前にクラスごとにそれぞれ2人のクラス幹事を委嘱しています。この日は加藤訓会長、北野芳憲、葛谷捷臣副会長ら役員のほかクラス幹事25人が出席。加藤会長が「皆さんには卒業生と同窓会の絆を深め、交流の輪を広げる役割をしていただきたい」と挨拶。その後、役員と和やかに歓談しました。

卒業式前日の2月28日、初の同窓会入会式を喬徳館で行い、卒業生を代表して菊池翔君が入会の言葉を述べました。3月1日の卒業式では加藤会長からクラス幹事に同窓会賞が贈られました。クラス幹事は以下の皆さんです。(敬称略)

- 【科学技術科】 A組 深川弘規、宮脇雄也▽B組 石田可蓮、近藤駿輔▽C組 青山慎志、山口省太郎▽D組 篠田貴都、野村亮
- 【情報科学科】 A組 辻聖太、洪城卓馬
- 【普通科】 A組 菊池翔、蒲生莉早▽B組 小笠原千華、柴田真澄▽C組 大嶋柁也、晋野真幸▽D組 森下浩暉、友滝啓介▽E組 加藤謙吾、土屋陽太▽F組 宮地龍之介、加藤愛梨▽G組 岡田智輝、吉兼生▽H組 池田和樹、小坂翔▽I組 中田貴大、永野和宏▽J組 加藤夢大、中村聡斗▽K組 長田笙汰、前川享史朗▽L組 川端涼雅、佐藤湧馬



卒業生を代表して加藤会長に入会の言葉を述べる菊池君

役員から一言



長尾楯夫監事
私の人生

私は昭和十九年満州で出生、二十一年佐世保に引き揚げました。幼少のころから理工作が大好きで、特に電気関係に興味があり愛工大名電高に入社し、卒業後、建設会社に入社。設備全般様々な建設現場に従事してまいりました。現在も現役で働いています。

一昨年の名古屋電気学園創立百周年の記念すべき年に同窓会百周年実行委員会の一員として参加出来たことが大変な喜びでした。次の二百周年に向かって更に発展することを願っています。同窓会のために微力ながら頑張るつもりです。

(昭38年卒)



今津孝理事
“春日井三山”を歩いて健康管理

春日井市の北に「春日井三山」と呼ばれるのが道樹山、大谷山、弥勒山である。私が一年間に二百五十回以上を目標に登山している山だ。

緑化植物園の駐車場に車を止めて細野のキャンプ場へと行くと、ここで尾根道と沢道に分かれるが、私は沢道が好きなので水量が少ない時は沢の中の大小の滝を登りながら道樹山山頂に行く。頂上は樹木で視界はない。ここからは定光寺から続く東海自然歩道を歩き大谷山に向かう緩やかな長い登りがあり、山頂に着くと正面に尾張富士方面がよく見える。さらに弥勒山へと歩くと急な階

段道となり、登りきると弥勒山頂上だ。左側の展望台からは、名古屋市、濃尾平野、御在所岳及び白山が一望でき、右側には御嶽山、乗鞍岳及び恵那山等が一望できる。

休憩をして内津峠方面へ歩き30番の道標から左へ進み、内津峠を眺めながら29番の道標を通り、さらに下ると沢に出るので時間があればこの沢を登り、落差十メートル以上の弥勒大滝を一度見ておくのも良い。時間がない時は弥勒山の外周遊歩道を歩いて緑化植物園の駐車場に戻る。

一周約八キロ、標高差四百メートルで適度な運動量である。三山では、カタクリ、ムヨウラン、イワカガミ、ササユリ、トリカブトなど多くの草花やヤマガラ、シジュウガラなど多くの野鳥を一年中観賞できるので皆様も遊歩道を歩いて楽しみながら健康管理を。

(昭39年卒)

やあ！お元気ですか④

同窓会の会員は現在、本年の卒業生を含めると約57,000人に上ります。様々な分野で元気に活躍しているOBを紹介いたします。

剣道の道極めて
— 山田久夫さん

「剣道の達人だから、厳しい人かな」と思いつつ職場の岡崎医療刑務所に山田久夫さん（昭55年卒）を訪ねると予想ははずれでした。姿勢はピシシとしていて、話しぶりや物腰は柔らかく、最初から一本取られ



たという感じでした。剣道を始めたのは小学生。学校で偶然、剣道のけいこ中だった体育館のぞいた時に、「中へ来いよ」と呼びかけてくれた先生の一言でした。そして中学、名古屋電気高等学校（愛工大名電高）へと剣道の修業は続き、刑務官となっても終わることとはありませんでした。そこまで剣道に引きつけられる魅力は何ですかと問いかけると、「剣道の奥の深さは、精神を鍛え、礼儀を学ぶだけでなく、社会に必要なことをぶことが出来ます」。即座に答えが返ってきました。

仕事の傍らけいこに励み、様々な所で後進の指導にも力を注ぎ、教え子らを全国大会などで活躍する剣士に育ててきました。その間、山田さんも全日本剣道連盟の定める段位を一步一步と上がっていき七段に合格し、十一年以上修業し四十六歳以

上の人のみに資格が与えられるという剣道最高位の八段に挑戦できるまでになりました。

「合格率は受験者のわずかに一割未満という狭き門でしたが、今回の受験に当たり、前回の不合格など反省し先輩の忠告などをしっかりとかみしめて試験に臨みました。試験は型だけでなく風格、気品など全てを問われる厳しいものでした」。その難関を乗り越え、一昨年五月、見事、合格し全日本剣道連盟から八段を授与されました。

家庭にあつても三人の子どもも剣道部に籍を置く剣道一家で、「家では剣道という共通の話ができて、親子の断絶もありません」と笑う。好きな言葉をお聞きしたら「剣は心なり、心正しからざれば剣また正しからず。剣を学ばんと欲すれば、まず心より学ぶべし」。本心に剣道一筋に生きる豪腕の人でした。

地元の発展に貢献
旭日双光章に輝く
―竹田昌治さん



竹田昌治さん

田さんの話によれば「少数精鋭主義で、部員は一年四、五人で厳しく鍛えられた」という。

卒業後は、野牧先生と一緒に愛工大の電気工学科に進みました。当時、大学卓球部は世界チャンピオンだった長谷川信彦選手らを擁し、「卓球愛工大」の名を全国にどろかせていました。竹田さんは「僕は途中で選手からコーチなどの裏方に回って選手をサポート。その一方で後藤淳先生の秘書として働くという学生生活でした」。

浜松まで足を延ばせずお会いしたのが若水キャンパス。初めての出会いながら、終始にこやかに母校との出合から現在までの道のりを丁寧な要領よく話す様子をみて、ご自身の不動産業という仕事への誇りとお客さんを大事にする気持ちが十二分に伝わってきました。

竹田昌治さん（昭37年卒）と母校を結びつけたのが卓球。中学三年の時に後藤鉦二先生から「明日から来なさい」と声がかかり、浜松市の中学校から名古屋電気工業高等学校（愛工大名電高）に入学。当時の卓球部は竹



竹田さん（左から4人目）の受章を祝って
浜松市内のホテルで開かれた祝賀会

大学を卒業後、母校で教員をしていましたが昭和四十五年に浜松市で不動産業を営む父親（竹田孫六さん）の仕事を手伝うため地元に戻った。父親が亡くなった時に自分の会社を立ち上げました。社名「竹八不動産事務所」を決めるにあたり、こんな経緯があったといひます。「易に詳しい知人の任職にいくつかの社名候補の中から、徐徐に事業が上向くというものを選んでいただきました。易の通り、現在は浜松市東部地域を地盤に順調に業績を伸ばしています」といひます。

また、業界内でも社団法人静岡県宅地建物取引業協会副会長、浜松市商工会議所不動産部会部会長、中部圏不動産流通機構理事等を歴任。今回の受章はこうした長年にわたる不動産業振興への貢献、不動産取引での消費者保護等に努めてきた功績が高く評価され、旭日

旅の思い ③

理事・道木峰男さん（昭42年卒）から寄せられた、「憧れの国『ニュージーランド』を訪ねて」の最終回です。



ニュージーランドではキウイという言葉が、様々なものに使われています。例えばキウイフルーツ、キウイボード、キウイ人、キウイイングリッシュなどである。そのキウイイングリッシュのついでに「She'll be right」と

双光章に輝きました。昨年九月に浜松市内のホテルで開いた「受章祝賀会」には地元の政財界はじめ同窓生、卓球仲間が駆け付け、ともに祝ってくれたことが何よりもうれしかったそうです。

「まあ何とかなるさ。大丈夫だよ」という意味です。北島のオークランドは別名「シテイ・オブ・セイルズ」と呼ばれ、ヨット界のF1と言われる「アメリカズ・カップ」が開催された都市であります。

ニュージーランドは、日本と同じく火山国なので、温泉がいたる所にあります。有名なものにはロトルアにあるポリネシアン・スパです。日本と異なる点は基本的には水着を着て入ることです。

南島ではクライストチャーチが最もよく知られています。この都市はガーデンシティと呼ばれているように町全体に緑が多く木や花で覆い尽くされています。町のシンボルは何と言っても中心部にある大聖堂でしょう。

その礼拝堂には誰でも入ることができません。大聖堂広場の反対側の先にはエイヴォン河畔や

色とりどりの花が咲いている植物園やバラ園などがあります。クライストチャーチをさらに南下するとマウント・クックや湖岸の街、クイーンズタウン、そして南東最南端の街、インヴァーカーギルに行くことができます。

旅を愛し、人を愛する人には是非訪れていただきたい国である。

山崎元中日選手を激励



昨年、中日ドラゴンズを引退し二十七年間のプロ野球生活に終止符を打った野球部OB山崎武司さん(写真右、昭62年卒)を激励しようと引退パーティー「山崎武司プロ野球在籍27年の軌跡」が一月十九日、名古屋市

内のホテルで野球部OB会主催、学園、同窓会後援で開かれました。



鏡割りをする山崎さん(中)、後藤淳理事長(右)、奥村会長(右から4人目)、中村豪元野球部監督(左)

後藤淳理事長、奥村衛OB会長ら学園関係者はじめ、野村克也元楽天監督、楽天から大リーグのニューヨーク・ヤンキースに入った田中将大投手や中日、楽天の両チーム選手ら千六百四十人が出席しました。

山崎さんが挨拶で「二



山崎さんにエールを贈る田中将大投手

十七年はあつという間に認められるよう頑張ります」と述べ、壇上で後藤淳理事長らと鏡割りをして感激を新たにしました。また、大リーグ移籍で注目された田中投手らも励ましの言葉を贈っていました。会場内には多くのファンも詰めかけ、山崎さんと写真を撮るなどして引退を惜しんでいました。

学校から



将棋部女子が昨年八月、全国高校将棋選手権大会で二連覇を果たし、吹奏楽部は十月に最多出場を達成した

全日本吹奏楽コンクールで銀賞に輝きました。また、十一月には吹奏楽で結ばれたシンガポールのイーシュンジュニアアカレツジの高校生が訪れ交流しました。高校の一年を久保校長にまとめていただきました。

101年目の軌跡—久保芳孝校長



平成25年4月1日に校長職を拝命しました久保芳孝です。同窓会の加藤会長はじめ皆様方には、日ごろから本校の教育活動にご理解・ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

平成25年度の教育活動の一端をご紹介します。ご承知のとおり、昨年度は学園創立100年目という記念すべき年であり、本年度、学園は次の1世紀に向かって新たな一歩を踏み出したところです。愛工大名電高及び愛工大附属中は、そうした伝統と格式のある学園のご支援をいただきながら着実に教育実践を積み重ねております。本年度は高校に643人、附属中に123人の入学生を迎えてスタートしました。ともに本校に対する外部からの高い評価を物語る好調な募集状況であり、同窓会をはじめとする皆様方の日ごろのご支援に感謝申し上げます。

進路指導においては先生方の献身的な指導と真摯に学習に打ち込む生徒たちの努力により愛工大に203人（平成26年1月16日現在）の合格者を出すことができました。また、その他、早稲田大学、慶応大学や同志社大学などの有名私立大学、名古屋工業大学、三重大学などの国公立大学にも数多くの合格者を出しております。この『同窓会だより』が皆さまのお手元に届くころには3月中旬・下旬発表の国公立大学合格結果もすべて明らかになっており、かつてないほどの大学進学の実績が出ているものと、確信しております。また、専門学科においてはITパスポート試験に4名、基本情報技術者試験に3名、情報技術検定1級に1名、パソコン利用技術者検定1級に2名、2級ボイラー技士試験に3名など、超難関と言われる資格検定に数多くの合格者をだしております。

さらに、本年度全国大会出場を果たした運動系部活動は野球、相撲、卓球、陸上（短距離）、剣道、フェンシング、ウエイトリフティング、バレーボール、自転車、水泳、チアリーディング、ゴルフ、スキー、ボウリングであります。また、文科系部活動では、将棋、写真、システムコンピュータ、吹奏楽そしてメカニカルアーツが全国大会に出ています。そのなかで特筆すべきは、附属中の卓球部と高校の女子将棋部が全国優勝を果たしていることでもあります。とりわけ、将棋部の優勝は2連覇という輝かしいものでした。こうした成果は、生徒や指導者たちの日ごろの努力の賜物であり、心から感謝していることはいまでもありませんが、同窓会の皆さんからは、全国大会出場に際して、その都度、援助金をいただいております。全国レベルの大会で生徒たちが思う存分自分の力を発揮することができますのも、このような心強いご支援があつてのことでもあります。この場をお借りして深くお礼申し上げます。

最後になりますが、ご逝去された野牧一雄先生につきましては、加藤会長も追悼の文章をお書きになっておられます。学校といたしましても心からご冥福をお祈りいたします。（文・久保校長）

同窓会だより 6

サッカー部

サッカー部は昭和43年に創部されました。近年では平成14年度に高校総体で全国大会・東海大会出場、平

成19年度に高校サッカー選手権大会愛知県予選準優勝という戦績を残しています。今年度の部員数は、八十人。一年を通して行うユースリーグ戦に三チーム登録しています（県2部リーグ、県4部リーグ、名古屋市2部リーグ）。練習は月曜日と水曜日以外は春日井市神領町にある春日井総合運動場で行っています。「常に全力で取り組むこと」、「名電生として恥ずかしくない行動をとること」、「見て面白いやって楽しいサッカー」をチームの教訓として日々目標である全国大会出場のため、チーム一丸となって練習に励んでいます。



上記は、チームカラーのパープルで彩られた盾の中に、校名であるMEIDENの頭文字Mをあしらったエンブレム。Mのデザインは「羽ばたく翼」をイメージしたものでサッカープレイヤー、そして、一人の人間としての「飛躍」を意味しています。

（文 顧問・宮口典久教諭）

高校PTAー私学の改革に期待



皆様こんにちは、昨年五月二十五日のPTA総会にて会長を仰せつかりました宮脇でございます。私自身、昭和六十三年の卒業生でありまして、卒業後また母校との関係が出来るとは思っていませんでした。

PTA活動を振り返ってみると六月十五日の愛工大見学会では各学部の特徴の説明、設備などの見学を行い、七月・十二月の校外補導においては子供たちの下校の様子を知ることができました。先生方と保護者との意見交換も行いました。また、私学協会において名古屋支部副支部長という大役を仰せつかり協会のイベ

ントに参加させていただきましたが、初めて体験することばかりで、気が付けば早や残り数カ月となりました。さて、昨年十月一日に下村文部科学大臣の講演会への参加及び十二月三日の私学振興全国大会に参加させていただき、大臣及び議員の先生方から教育再生法案についてのお話を拝聴しました。公立高校授業料の無償化を見直し、所得制限を設け、その分を低所得層や私立高校の助成等の支援を充実するといった内容、私立学校の防災機能強化施設整備費補助の大幅な増額など来年度は保護者の環境、教育の現場においても、少なからず変化があるように感じました。こうしたPTA活動を通し私自身が成長できたこと、皆様方とのコミュニケーションが取れたことにより世界が広がったと感ずる三年間でした。残りわずかではありますが、最後まで全力でがんばりますので、引き続き皆様のご協力・ご支援のほどよろしくお願いたします。

（文 宮脇智弘会長）